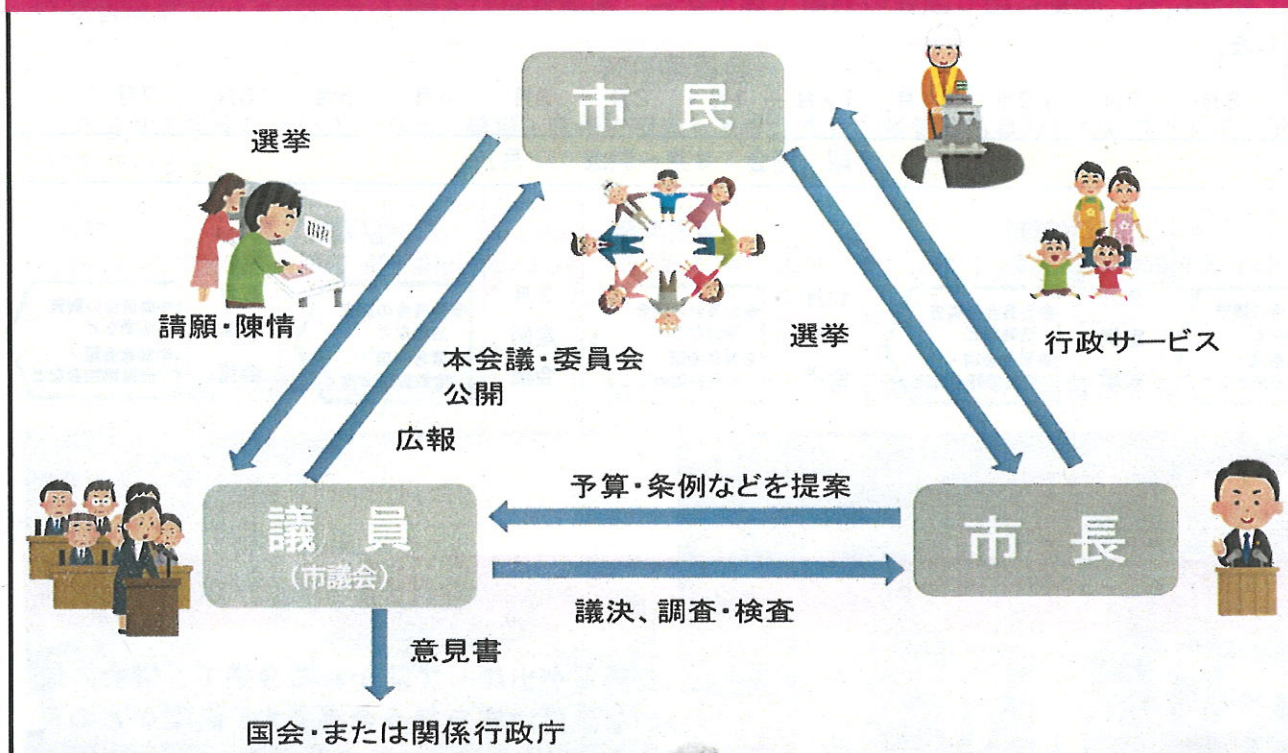


知ってほしい 福島市議会のこと

市民と議員（市議会）・市長の関係



福島市民が、安心して快適に暮らしていくための市政運営については、市民の意見が十分に反映されるものでなければなりません。しかし、市民が全員で話し合って決めることは難しいので、市民の代表者である議員と市長を選挙で選び、運営を委ねています。

市議会は、条例の制定や予算の決定など、市政を進めるうえで大切なことを決める議決機関であり、その決定に基づいて実際に事業を行っていくのは市長（執行機関）です。

市議会と市長は、対等の立場に立って市政について議論しながら市民生活の向上に努めています。

市議会議員の仕事って？

福島市議会は、「通年会期」を導入し、議員は1年を通して様々な活動をしています。一般的に「議会」と聞いて思い浮かぶのは、議員全員で行う本会議や委員会などで議案の審査を行う定例会議だと思えます。

定例会議の会期は年間で約80日ですが、これ以外にも常任委員会や協議会、議会の情報を広く知っていただくための広報委員会や議会の運営をより良くするための議会運営委員会、議会改革検討会、ICT活用検討会など様々な会議を行っています。

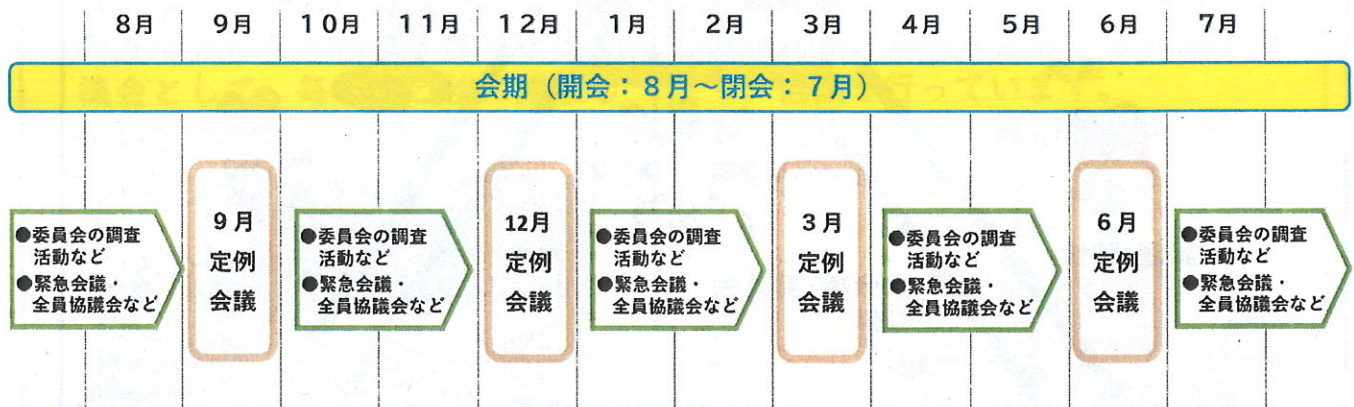
他にも、本会議の一般質問などを行うための調査研究など議員個々の用務もあり、年間を通して様々な活動を行っています。

この冊子では、そんな議員や市議会の活動を紹介します。

福島市議会は「通年会期」を導入し、常に活動しています

以前の議会は、年4回定期的に行われる「定例会」の期間に議案の審査などを行い、それ以外に急いで決めなければならないことがあった場合、そのたびに市長が議会を招集して「臨時会」を開催していました。

通年会期導入後は、毎年8月1日から翌年の7月31日までを会期とし、年4回の「定例会議」以外にも、必要に応じ議会の判断で速やかに「緊急会議」を開くことができるようになりました。



本会議



全議員が出席して開かれる会議で、議会の最終的な意思決定を行う会議です。議案などの可否はすべて本会議で決められます。

議会と聞いて一番イメージされる形の会議です。

令和6年中は、3月から12月まで4回の定例会議を開催し、議案の審査などを行いました。



質問回数ランキング

令和6年の代表質問・一般質問で多く取り上げられた項目は？

- まちづくり
- シルバーパスポート
- 災害対策
- メガソーラー



となりました。

まちづくりは福島駅東口再開発事業や福島駅東西の賑わい創出の取組み、シルバーパスポートは制度見直しの理由、災害対策は学校体育館等への空調設備の導入、メガソーラーは条例による開発規制の効果などについて質問がありました。

本会議の開催実績(令和6年1月1日～12月31日)

定例会議	会期	会期 日数	議決 議案数	質問 人数
3月定例会議	3月1日～3月26日	26日間	75	17
6月定例会議	6月3日～6月20日	18日間	35	13
9月定例会議	9月2日～9月24日	23日間	41	15
12月定例会議	12月2日～12月17日	16日間	39	14